

# 魚の城下町

羅臼町広報誌

みんなが主役のまち

1  
2012  
NO.250



# 大志を胸に

～平成24年 羅臼町成人式～

# 長年の功績をたたえて

—平成23年度 羅臼町表彰式—

平成23年度「羅臼町表彰式」が11月9日(水)に羅臼町商工会2階会議室において開催されました。

この表彰は、それぞれの分野において、町政の進展に多大な貢献を賜りました方々に対し、長年の功労を顕彰するものであります。受賞者は次の方々です。  
(敬称略)

## ◆貢献賞◆

### 【自治貢献賞】

(自	治)	村	山	修	一
(自	治)	松	原		臣
(自	治)	佐	藤		晶
(自	治)	鹿	又	政	義



### 【社会貢献賞】

(社	会	事	業)	小	野	寺	千	鶴	枝
(住	民	組	織	活	動)	能	澤	直	義
(防	犯	運	動)	横	山	久	次	久	郎
(消		防)	高	橋	忠	一			
(消		防)	森		眞				



### 【産業貢献賞】

(水	産	業)	田	中	喜	代	志
(水	産	業)	萬	屋	昭	洋	
(水	産	業)	黒	澤	昭	一	
(水	産	業)	山	根	政	雄	
(水	産	業)	森		光	芳	
(水	産	業)	三	谷	周	市	
(水	産	業)	米	澤	好	光	
(水	産	業)	山	本		勤	
(水	産	業)	内	藤	一	幸	
(水	産	業)	八	幡	浩	平	



### 【善行賞】

(善	行)	羅	臼	町	水	産	加	工	振	興	協	会
(善	行)	本	町	み	ど	り	の	会				
(善	行)	熊	の	湯	愛	好	会					



## ◆納税表彰◆

### 【町税納期内連続完納者】

● 50ヶ年	吉	田	玉	吉
	森	野	昭	晴
● 30ヶ年	小	林	紀	代
	黒	澤	秀	敏
	村	井	ケ	孝
	川	尻	イ	子
	野	理	行	雄
	長	内	孝	也



# 平成23年度「税に関する作品」表彰式

平成23年11月14日(月)に羅臼町及び根室税務署主催による小・中・高校生を対象にした「税に関する作品」の表彰式が行われました。今年度も数多くの作品が集まり、審査の結果、受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

## 【羅臼町主催】

### 中学生 作文の部 <応募総数14作品>

最優秀賞 3年 山崎 真央  
 優秀賞 3年 長谷川功陽・3年 山崎 佳奈  
 佳作 3年 根塚 康介・3年 天内 美滯  
 (以上、5名 全て羅臼中学校)



中学生 作文の部 受賞者

### 中学生 ポスター原画の部 <応募総数64作品>

最優秀賞 2年 熊谷みなみ  
 優秀賞 2年 里館 舞・1年 板倉 真葵  
 佳作 2年 金沢 亜美・2年 佐藤 詩奈  
 (以上、5名 全て春松中学校)



中学生 ポスターの部 受賞者

### 高校生 作文の部 <応募総数34作品>

最優秀賞 1年 平藤 真緒  
 優秀賞 1年 島越 菜緒・1年 遠嶋 雛  
 佳作 1年 相木ひかる・1年 中島 莉香  
 (以上、5名 全て羅臼高等学校)



高校生 作文の部 受賞者

## 【根室税務署主催】

### 小学生 書道の部

羅 白 町 長 賞 羅小5年 山 下 玲 奈  
 北海道税理士会釧路支部根室部会長賞 羅小3年 山 下 卓 徒  
 根室管内納税貯蓄組合連合会会長賞 春小6年 吉 田 浩 菜  
 社団法人 根室地方法人会会長賞 羅小6年 小 寺 由 希 子  
 根 室 間 税 会 会 長 賞 春小5年 村 上 夏 凜  
 根 室 税 務 署 長 賞 羅小3年 小 川 真 優 佳  
 税を考える週間推進協議会特別賞 春小3年 前 田 彩 華



小学生 書道の部 受賞者

### 中学生 作文の部

根室管内納税貯蓄組合連合会会長賞 羅中3年 長谷川 功 陽

### 「税についての高校生の作文」

根 室 税 務 署 長 賞 羅高1年 平 藤 真 緒

# らびすの★医療費

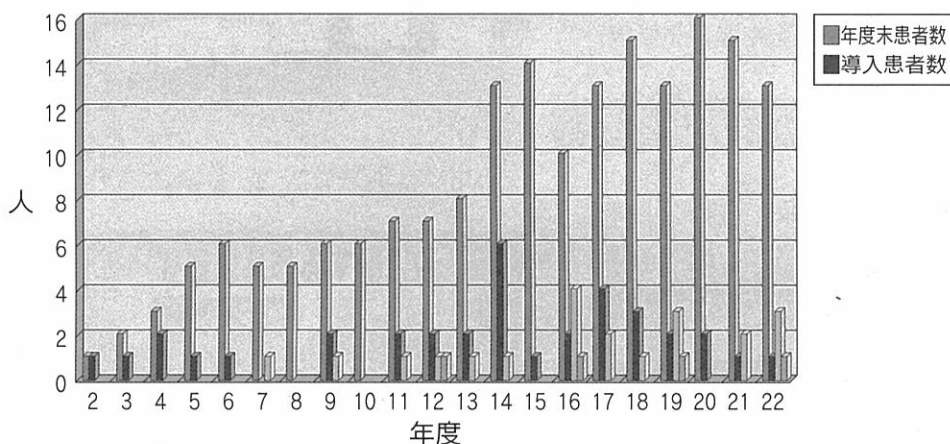
腎臓が突然ダメになる？沈黙の新現代病と透析について

羅臼町の国保の皆さんの病気について、国保の医療費を分析してみました。今回はその中でも透析について取り上げます。

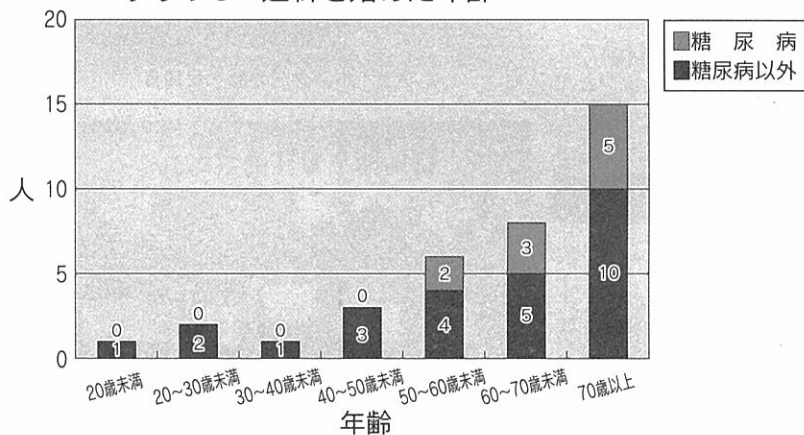
## 透析って何？

人間の体は外から栄養を摂って、人間の体に合うように栄養を組み換えて使っています。その過程で「老廃物・毒素」が生じます。それを肺から二酸化炭素として、腎臓からは尿として体の外に出すことで、正常な体の働きを保っています。ところが何らかの原因で腎臓が動かなくなると、「老廃物」が体の中にどんどんたまりまます。そのままでは死んでしまうので、腎臓の代わりに働きを機器にしてもらうこととなります。血液をいったん体の外に出し「人工腎臓」と呼ばれる機器で体にいらぬものを濾しとります。それが人工透析です。透析ができる医療機関は限られており、週に3回、半日程度の時間をかけて血液をきれいにします。とても時間がかかりますし、体にも負担が大きいです。何より医療

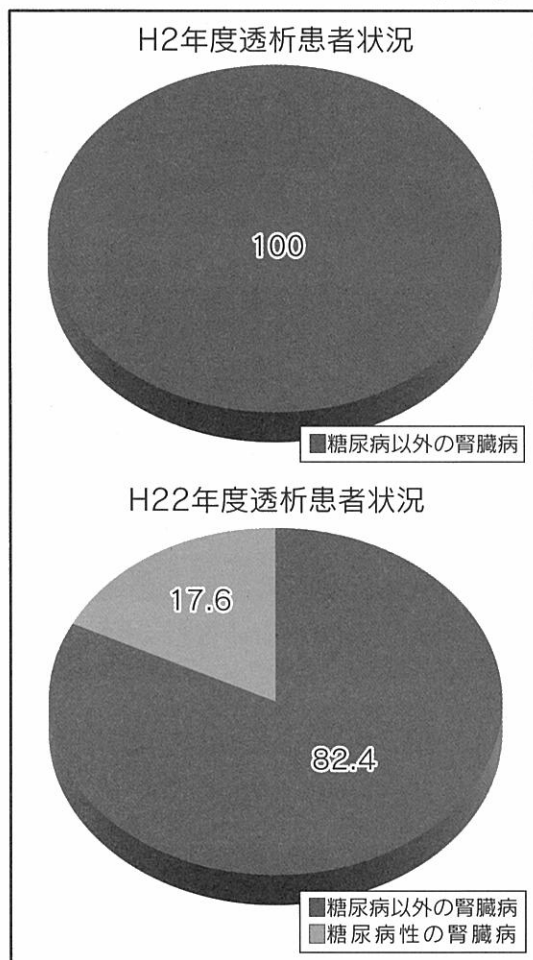
グラフ1 年度別透析患者数・導入患者数・死亡者数の推移



グラフ3 透析を始めた年齢



グラフ2



費が莫大にかかり、腎臓の働きを元に戻すことはできません。

## 羅臼町は…

グラフ1を見ていただくと、透析を導入する人が毎年一定数いること、死亡の状況が分かります。グラフ2では平成2年度と平成22年度を比べてみます。「糖尿病」が原因で透析をする人が増えてきました。グラフ3では今まで透析になった人の透析の開始年齢を見ています。平均すると70歳代です。糖尿病の場合、あまりコントロールができていないと約20年ほど透析が必要になると言われているので、だいたい50歳頃から糖尿病になっている人が多いよ

うに思われます。

糖尿病は羅臼の国保では第2位の医療費がかかっている病気です。(平成21年5月診療分)一人当たりでは約4万円ですが、透析では約36万円です。羅臼町でも糖尿病が多いということは、透析の人も増える可能性があるということではないでしょうか？

### 透析になるのか、どうやったらわかるの？

透析になると腎臓の働きが悪くなっても、自覚症状はほとんどありません。人工透析にならないためには、まず検査で腎臓の働きを知る必要があります。

①それは…「尿検査」。これは尿にタンパクが混じっているかをみる検査です。正常な働きの腎臓では、通常は体に必要のない毒素や老廃物は濾しとりますが、体に必要なタンパクは体の外に出さない仕組みになっています。ところが、悪い食生活などが続くと血液の中に塩分や糖、脂肪が増えてきて、それらが腎臓の血管を傷めつけ、タンパクが漏れ出てしまいます。

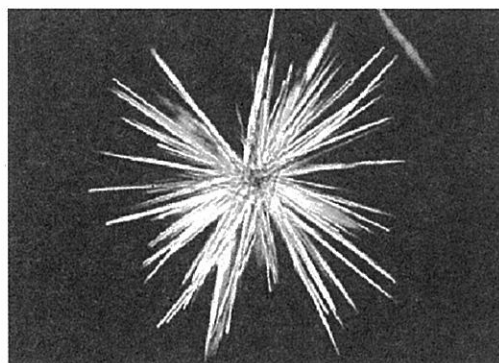
### ②腎臓の働きがどれくらいか、数値でわかる検査

その検査とは「クレアチニン検査」です。羅臼町では特定健診の検査項目にクレアチニンをいれています。この検査は特定健診の必須項目ではありませんが、羅臼町の特徴から絶対に入れた方が良い検査だと思ひ実施しています。

腎臓の働きが正常であれば、クレアチンは濾しとられて体の外に捨てられます。しかし、腎臓の働きが悪くなり、老廃物を濾しとれなくなると血液の中に残る量が増えます。腎臓の壊れ具合をみる早見表も発表されていますが、今年の6月と11月の羅臼町の特定健診を受けている方は「健診経年結果一覧」というものを見ていただくとeGFRという項目があります。これが腎臓の働きを示す数値で、50をきると、腎臓の専門医への受診が必要になります。15未満で腎不全となり、人工透析が必要となります。

### 腎不全の意外な敵とは？

高血圧や糖尿病が腎臓の血管を傷めつけ、働きを弱らせることをご存知ですか？他にはたばこやコレステロールが高い状態も腎臓の働きを弱らせます。更に「痛風」も腎臓の働きを弱めます。尿酸という項目が7を超えている人は痛みなどの症状がなくても「高尿酸血症」という病気なのです。羅臼では健診で高血圧の治療をされている人が多いです。コレステロールも肥満もたばこを吸う人も多いです。これらの状態では痛みがあったり、苦しかったりという不快な自覚症状はほとんど見られません。これらは死んでしまうほどの病気ではありませんが、様々な余病を生み出し、それが命取りになることも少なくありません。その1つの例が人工透析なのです。



尿酸

### 健診を受けてください。そして保健指導をご活用ください。

町では健診を受けてくださった方全員に、できるだけお会いして結果をお返ししています。「保健師や栄養士にいろいろ言われるのは嫌だな」と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし、ご自分の体のことを考える機会は健診以外にはなかなかないのではないのでしょうか？自分の体にどんなことが起こっているのかを知る機会としてぜひ健診を受けていただき、保健師、栄養士を活用してください。

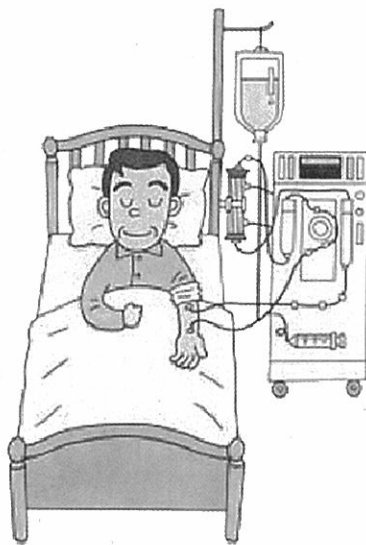
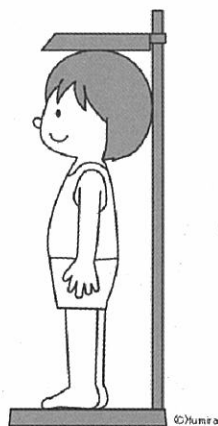


図 血液透析の概念図

# 子どもの成長、どう見る？

羅臼町では年4回、乳幼児健診を行っています。昔に比べて生まれるお子さんが少なくなり、高齢化が目立ってきましたが、だからこそ1人1人のお子さんを大事に育てて、未来の羅臼、日本をこの子どもたちに担ってもらうためにはなりません。健診もそんな気持ちで、ゆっくり時間をかけて行っています。



なお、今回の特集では今まで取り上げたことのない「子どもの発達」について特集します。

## 成長には凹凸があります。

子どもは単に体が大きくなるばかりでなく、心も成長します。ただ泣いて不快を伝えていたのが、にっこり笑ったり、泣くは泣くでも、悲しくて泣いたり、怒ったりと感情が豊かになってきます。運動の様子も寝てばかりの赤ちゃんからハイハイや歩く、走るなどができるようになったり、えんぴつやクレヨンでぐるぐる丸を書くだけだったのが、難しい漢字を書いたり、絵を描いたりできるようになったりします。



体が大きくなることを「成長」ということが多く、運動や心の成長を「発達」と言ったりします。子育てを経験された方は、子どもの成長に凹凸があることをご存知かと思えます。この凹凸が自然に平らになっていく子もいますが、少し丁寧に、時間をかけて、意識して関わりをもってあげなくては凹凸が解消



されない子もいます。

## ● 落ち着きがなくなる

子どもが成長する過程では、「落ち着きがない」時期があります。家の中ではとにかく動き回って、目が離せない、危ないことをわざとやっているの？ということもあるかもしれません。観察のポイント



- ・保護者がいることを確認して動いていますか？
- ・迷子になったことがありますか？
- ・常に手をつないでいないと外出できませんか？
- ・脳の働きの「くせ」のせいで集中できない子は事故やけがが絶えない場合もあります。落ち着きのなさに伴って不注意（物をなくす、すぐに忘れる、整理整頓ができないなど）や衝動性（順番が待てない、かんしゃくなど）がみられることもあります。

## ● こじげが運ぶ

ことばの出力は本当に個人差が大きいものの1つです。2歳頃まではポツリポツリと単語を話すだけだったのが、ある時から爆発的に、文章を話し始めるということも良く見られます。町の健診では1歳6カ月健診、3歳児健診でことばの様子をうかがっています。単なる個人差ということもありますが、聞こえの問題を持っていたり、発達の問題を持っていることも見られます。



子どもの成長過程では、ことばだけでなく、行動の様子も一緒に観察してみましよう。ことばはあまり出ていないけれど、目線がきちんと合っているの言っていることは分かっているな、とか、周りの人との関係が良く、やり取りができていけるな、など、ことば以外の気になる行動がないようであれば、様子を見ていきましよう。また、幼稚園では発音が赤ちゃんことばのままということもありますが、小学生ではほとんど気にならなくなるでしょう。

※やり取りについて

人間関係の基本はママと赤ちゃんの関係から始まります。赤ちゃんがママに抱っこされ、「安心」を得て、それが子どもの成長を後押しするパワーになります。安心できる親子の関係があって、子どもはいろんなことにチャレンジすることが出来ます。やり取りの始まりが抱っこです。抱っこをして、視線を交わすことで愛情が伝わります。親子が一緒に過ごす時間の中では、抱っこできる時間はほんのわずかと言えます。いつまでも抱っこされている子どもはそうはいりませんよね？赤ちゃんをお持ちの方は「抱き癖がつく」と思っても、抱っこできる時間を大事に過ごしてほしくです。



### ● いうことを聞かない、指示が入りにくい

しつけの仕方とは別の発達理由で、「いうことを聞かない、指示が入りにくい」ということが起こります。何か遊びに夢中になっているときには、もちろんいうことを聞ける状態にはないでしょう。ですが、聞こえが悪い、注意が続かない、ことばの理解だけが悪いという理由でも「いうことを聞かない」状態は起こります。それから、対人関係が弱く、「コミュニケーション」に問題をかかえるという特徴を持ったお子さんでは、ことばの意味は理解できるけれども、ことばに込められた感情を読み取ることが難しいこともあります。そのような場合には、指示が入りにくく、人の言うことを聞いていないように感じられることがあります。



### ● こだわりが強い

ものごとへのこだわりは、時にプラスに評価される場合もありますが、過剰になると日常生活の妨げになることもあります。時々、子どもがお気に入りの毛布を手放せずに、親御さんが洗濯をするのも一苦労ということがあります。多くは問題なく卒業できていくことが多いです。

こだわりの代表例ではおもちゃの車を一直線に並べずにはいられない、重い物やお散歩でいつもと違う道を通るとパニックになるなどがあります。こだわりがそれ以外のものへの興味を奪い、他の遊びができない、学習が進まず差支えがでてくるという時には対応が必要になります。実害のないものであれば様子を見ていくことが必要です。



### 発達のは凹凸はみんなにある。

今、ここで取り上げたことはどんな子にも見られることです。時間の経過とともに見られなくなり、個人差の範囲ですむものもあります。本人や周りの家族が困る、子どもの成長や発達が妨げられるということが起こるようであれば、専門家に相談してみることが必要になるでしょう。「今、その時」は大変でも、徐々に気にならなくなることも多く見られます。健診では発達の凹凸についてお話をさせていただく場面もありますが、健診を担当するところとしては、羅臼の子どもが健やかに成長できるお手伝いをご家族とともに行ければとてもうれしいと思っています。

ご心配なことがありましたら、保健福祉課までご相談下さい。



# オトナの定期歯科検診のススメ

## 歯周病の兆候



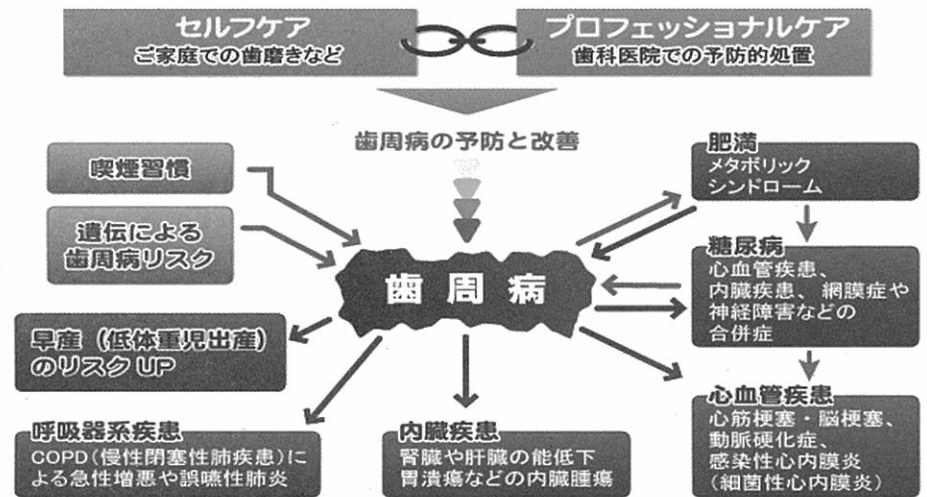
歯周病は、歯周病菌が歯ぐきにダメージを与え、少しずつ歯を支える組織を破壊していきませんが、痛みがなくなると進行していく怖ろしい病気です。具体的な症状としては、歯ぐきの腫れや出血から始まり、放っておくと歯がグラついて抜けてしまうこともあります。

歯周病は我が国の中高年の8割以上がかかっている病気です。羅臼町でも同様で、平成22年に町の総合健診で歯科検診を受けた人の結果では中高年の約8割の人が歯周病という結果でした。

本当に怖い歯周病の話



## 歯周病と体の病気



歯が痛まなくても、  
歯科医院へ行こう！



どんなに一生懸命歯みがきをしていても、残ってしまう汚れはあるものです。歯科医院は、「むし歯になったり、歯が痛くなったら行くところ」と思っています。

ませんか？

子どものうちは1歳6か月児・3歳児健診、幼稚園、小・中・高等学校などで定期的に歯科検診を受けます。その習慣は大人になってからも継続していきましょう。

歯周病を防ぐには、1年に1〜2回の歯科医師の検診をお勧めします。かかりつけ歯科医を決め、定期的に診察を受けておくと歯ぐきのちょっとした変化にも気付いてもらいやすくなります。

かかりつけ歯科医は、「あなたの歯の健康サポーター」です。

**無料!!**

羅臼町の総合健診で  
歯科検診実施中!

羅臼町では総合健診【春・5月・6月】  
【秋・11月】で歯科検診を実施しています。

自分のおくちの健康状態を知るために、  
まずは検診を受けてみませんか？



# 子育て情報ひろば ～すくすく～

◎風邪のウイルスが付着した手で目や鼻を触ることで、ウイルスが体に入ってしまう。

「外出から戻ったら、石鹸で手洗い」を習慣化しましょう。



気温が下がり、空気が乾燥してくると気をつけたいのが風邪です。風邪予防の基本は、「うがい」と「手洗い」です。  
また、規則正しい生活で、ウイルスに負けない体を作ること、風邪予防にはとても大切です。

冬の風邪を予防しよう！  
「おうちへ帰ったら、うがい・手洗いを忘れずに☆」

こんにちは。保健福祉課です。  
風邪やインフルエンザが流行する時期になりましたね。

## 知っていますか？ 妊婦宿泊費助成制度☆



### ◎内容

羅臼町では冬期間、悪天候などにより、道路事情が左右されることから、出産間近の妊婦さんに対して宿泊費の助成をしています。

### ◎対象

- ① 1月から3月までの期間に出産する方（出産予定日が前後することもあり、12月から4月までの予定日の方）
  - ② 出産が始まったが医療機関に入院する状態ではなく、しかし悪天候などで羅臼町へ帰ることができず、医療機関のある現地に滞在した方
  - ③ 満37週を過ぎた方
- ※妊婦さん本人にのみ助成します。

### ◎助成額

食事代を除き、1泊5,000円を上限として3泊を限度とした実費とします。

### ◎申請方法

保健福祉課窓口に「申請書」があります。宿泊施設の領収書を添えてご提出ください。

《お問い合わせ先》 羅臼町役場 保健福祉課 保健係 TEL0153-87-2161

◎「のど」はウイルスや細菌を体の中に侵入させない働きがあるので、驚くほど多くの細菌等が付着しています。のどや口の中に付いたウイルスを取り除くために、「うがい」は有効です。



## ☆1月・2月・3月の子育てに関する情報☆

- 1/30 計測日(ありんこ)
- 2/8 春松幼稚園訪問(ありんこ)
- 2/9 親子食育教室(春松小学校)
- 2/15 羅臼幼稚園訪問(ありんこ)
- 3/14 お別れ会(ありんこ)
- 3/19 計測日(ありんこ)
- 3/22 ちいさい子のおはなし会(公民館)



☆お別れ会は事前申し込みが必要です!!

2/29までにありんこへ申し込んでください。(TEL88-1515)

## エゾシカ捕獲を実施しています



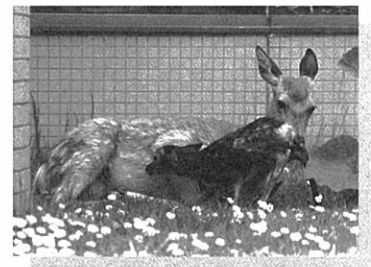
交通事故シカの対応

**シカの問題**

「クマよりもシカを何とかしてくれ！」「昔はこんなに居なかつたのに…。」などの声が、ここ数年役場へ届けられています。

エゾシカは年々増加し北海道には現在、推定65万頭、私たちが暮らす知床半島では、約1万頭が生息していると言われていています。

エゾシカの増加は希少植物の崩壊等様々な問題がありますが、羅臼町でも、花壇や樹木の食害、昆布干場への糞や交通事故死体による衛生問題、人馴れたシカと人の距離が近いことによる感染症の恐れ、発情期のオスや出産期のメスとの接触による負傷の恐れなど非常に危険な状態も発生しています。



役場玄関横で出産  
平成20年6月撮影

### 有害捕獲

右の写真をご覧ください。母シカと生まれたての子シカで、とても微笑ましい光景です。この写真は役場正面玄関横で撮影されたものですが、ここに何も知らない人が近寄った場合、母シカに攻撃されて負傷する危険性があります。一見、自然が豊かで、野生動物と共生している象徴のように感じますが、人間の生活圏に出没することは『自然』でも『共生』でもありません。

今月から3月まで、知床の植生保護のため、ルサ、相泊間で環境省によるエゾシカの捕獲が試行的に実施されています。同地区は知床冬地で、今後、本格的な捕

### 【今冬の羅臼町内におけるエゾシカ捕獲】

#### 環境省によるルサ～相泊間の捕獲

1/15～3/31の期間内に毎週火・金曜日を実施日とし、12回実施した時点で終了します。実施の際は当日昼の防災行政無線でお知らせします。



獲を実施するために、どのような捕獲方法がこの地区に適しているのかを見極めるものです。

併せて毎年役場と猟友会で行っている有害捕獲も峯浜町、ルサの区間で実施中です。皆様には発砲音等でご迷惑をおかけしますが、エゾシカによる生活環境被害を防止する目的で行っておりますので、ご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。

### 情報掲示板

自然関係の情報をお知らせします。

#### ・平成23年中のクマ対応件数（1月～12月）

\*対応件数 220件

昨年は秋から冬にかけて、クマに干し魚が捕られるケースが多発しました。12月上旬に岬町で夜間出没し干している魚を捕ったクマが最後ですが、捕獲には至っていません。

また、稀なケースではありましたが、魚を干している小屋を荒らし、再度出没して小屋のガラスで負傷し、出血多量で死亡した個体もありました。

本年も早ければ2月下旬頃にクマが活動を始めますので、生ごみや魚の適切な管理について、ご協力を宜しく願います。

# 水環境の保全を

環境保全及び創造は、行政・事業者・市民及び滞在者が自らの活動と環境への係わりを認識し、環境への配慮を行うことにより、人と自然が共生し、環境への負荷が少なく持続的に発展することができる社会を構築することを目的として行わなければならない。(町環境基本条例第3条第3項)

羅臼町のあゆみは、知床の雄大な大自然に抱かれ「漁業のまち」「食糧基地」として経済振興と町民生活の安定に努めてきました。今後においても、きれいな河川や海を守る対策を講じながら生活の快適性の向上にも努めていくことに変わりはありません。

今、世界的に大きな課題となっている数々の環境問題は、一人の力では解決できない大きな問題ばかりですが、地域から自分たちの出来ることから積極的に取り組んでいかなければ、私たちの生活を守ることはできません。多くの人が環境に対する意識を高め、自身自身の意志に基づいて行動することが必要です。

環境にやさしい行動を習慣づけ、それを常識として広めていくことが大切です。

## 川や海を汚しているのは誰？

かつて川や海の汚れの原因は工場などからの産業排水が主なものとされてきましたが、現在は法律の規制によって産業排水の汚れが減少し代わりに生活排水の汚れが目立ってきました。

水は使ったら、使った分だけ汚れた水が排水されます。

その水をきれいにしてから排水すれば水環

境が守られます。

羅臼町が合併処理浄化槽を推進しているのは、家庭の様々な水の汚れに対応し、水環境の保全をするためです。

## 合併処理浄化槽を設置しよう

羅臼町生活排水処理基本計画では、平成3年度から合併処理浄化槽設置整備事業補助制度により、その対策を進めており、今年度で設置基数894基、生活排水処理率は約65%に達しています。

この計画は、平成27年度までに設置基数を975基、生活排水処理率を約75%にしようとするものです。

設置の申し込みは、随時役場で受付しておりますが、設置に係る予算が毎年20基分の予算であるので、新築や増築の方を優先しています。建替え等を計画している方は、早めのお申し込みをお願いいたします。

## 合併処理浄化槽のメリット

合併処理浄化槽をつけることで、トイレを水洗化して快適な生活をおくることができます。さらにきれいな水を流して美しく豊かな自

然を守ることができます。この他にもいくつかの利点があります。

- ① 生活排水の汚れが10分の1に減り、きれいな排水なので安心して流すことができます。
- ② きれいな水を放流することで身近な排水路等がきれいになり地域の川の水量も確保できます。
- ③ わずかなスペースがあれば設置ができます。
- ④ 認定工場で生産される強化プラスチック製です。強度・耐久性に優れています。
- ⑤ 設置が早く、すぐに効果が発揮できます。
- ⑥ 合併処理浄化槽には、補助金制度があります。

## 廃食油の処理どうしていますか？

いくら浄化槽を設置しても、その使われ方が間違っていたら、効果を発揮できません。

合併処理浄化槽は、家庭から出る汚水を処理するための装置です。次のことに注意してください。

- ① 異物や油を流さない。  
排水管のつまりや浄化槽の故障原因となりますので、絶対に流さないでください。  
※廃食油は、固形にするか、冷えてからペットボトルに入れ、不燃物の回収日に出していたと無料で回収いたします。
- ② ばつ気装置の電源は切らない。  
ブロワは、浄化槽内に空気を送り、微生物の活動を補助するためのものです。  
※微生物が死んでしまうことがありますので、絶対に電源は切らないでください。
- ③ 洗剤を使いすぎない。  
洗剤等を大量に使用すると浄化槽内の微生物が死んでしまうことがありますので、適正な量を使用しましょう。

# 羅臼町郷土資料館がオープンしました。

12月26日、「羅臼町郷土資料館」がオープンしました。グレードアップした郷土資料館を是非、ご見学下さい。

## 【羅臼町郷土資料館】

郷土資料館では町民のみならずより寄贈いただいた生活・漁業に関する資料や、遺跡から出土した土器や石器、知床の自然を代表するシマフクロウやオオワシの剥製などを多数展示しています。

開館日：土、日、祝祭日を除く月～金曜日

開館時間：10時～17時

場 所：峯浜町307番地（旧植別小中学校）

入 館 料：無料



改築された「羅臼町郷土資料館」

12月26日、40名の方々に御来館いただき、開館式が行われました。展示室の概要につきましては次のとおりとなっております。

### 考古第一展示室

約八、〇〇〇年前から一、六〇〇年前までの縄文、続縄文時代の土器や石器などを展示しています。

### 考古第二展示室

約一、六〇〇年前から七〇〇年前までのオホーツク文化、トビニタイ文化の木製品や骨角器、竪穴模型などを展示しています。

### 近世展示室

江戸時代以降のアイヌ文化や北海道の名付け親、松浦武四郎についての展示です。

### 産業展示室

明治以降の漁具や写真パネルを展示しています。

### 生活展示室

明治以降の羅臼の人々の生活道具や写真パネルを展示しています。



生活展示室

### 植物展示室

知床の高山植物の写真パネルを展示しています。

### 動物展示室

オジロワシやシマフクロウ、クジラ模型等を展示しています。

### 昆虫展示室

蝶や蛾、甲虫など二百数十種の知床に生息する昆虫標本を展示しています。

### 植別記念室

旧植別小中学校の歴史を展示しています。

展示室は合計9室です。その他に会議室、工作室、収蔵庫などをそなえており、多くの町民の皆様の御来館をお待ちしております。



動物展示室

7月～12月  
らうす下半期

# 図書ベストリーディング



## 貸出1位 (2作品同数)

### 「麒麟の翼」 東野圭吾著

大都会の真ん中で発生した事件の真相に、加賀恭一郎が挑む。公民館図書室上半期下半期総合1位だった「麒麟の翼」。



ドラマ化されると小学生・中学生からも予約が入りました。  
第2弾も好評貸出中!



### 「謎解きはディナーのあとで」 東川篤哉著

## 貸出2位 「マザーズ」

同じ保育園に子供を預ける3人の母親。はた目には幸せに映る彼女たちの孤独と絶望感を描き出す作品。  
図書室では同世代の女性に支持されたようです。



## 貸出3位 (4作品同数)

「下町ロケット」 池井戸潤著  
「緑の毒」 桐野夏生著  
「密売人」 佐々木譲著  
「質素な性格 欲は小さく野菊のごとく」 吉行和子著

ほぼ同時に発見された3つの死体。北海道を舞台に繰り広げられる事件捜査と謎…。  
公民館図書室でも新刊を心待ちにしている利用者の方が多い人気の作家です。  
最新刊「警官の条件」も所蔵しています。



平成23年度図書館活動講演会

## 道立図書館出前講座へのお誘い

【日時】 平成24年2月6日(月) 18:30～20:30

【場所】 羅臼町公民館2階視聴覚室 【主催】 羅臼町公民館

【内容】 講話「これまでの図書館、これからの図書館～道内の図書館活動の事例に学ぶ～」

講師 北海道立図書館総務企画部 企画支援課長(司書) 宮本 浩氏

各地の活動事例を伺い、参加されたみなさんとこれからの図書館活動について歓談する時間を設けます。「図書館活動」に関心のある方どなたでも、ご参加ください。



# 城下町のわだい

みんながまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

## 10月9日(日) 知床の名を全国へ



マーチングバンド「知床ブルーイーグルス(团长 田中良)」のみなさんが、10月9日に開催された第11回マーチング&パトンステージ全国大会北海道代表選考会に出場し、見事金賞を受賞。2月18日に神奈川県横浜市で開催される全国大会に出場することとなりました。メンバーの今野朋美さんは「大会まで残りわずか、会場が一体となって楽しめるよう、一生懸命練習しています。みなさんの応援よろしくお願いします。」と話してくれました。



後列左から 今野朋美さん、中多知恵美さん、水口智之さん、中嶋仁彦さん、岩井宏憲さん  
前列左から 千葉静流くん、吉田拓己くん、米井のこさん、米井喜一くん、菊池愛里さん、水口潮音くん

## 11月18日(日) 思い出を永久に



飛仁帯小学校閉校事業協賛会(会長 鹿又政義)のみなさんが、飛仁帯小学校跡地に記念碑を建て、除幕式が行われました。閉校に至るまで3,908名の児童を送り出し、羅臼町の教育を担ってくれた飛仁帯小学校。みなさんの心にたくさんの思い出を残し、記念碑は卒業生を見守ってくれます。



## 11月20日(日) 地元のを新しい味わいで



羅臼漁協女性部(部長 田中郁子)主催の「第4回海の幸コンテスト」が開催されました。7名15品を審査した結果、金賞は中野高子さんの「鮭のポールフライ」が選ばれました。審査員5名の中には「どれも美味しく、点数の付けようがない。」という意見もあったとおり、みなさんそれぞれに味・見た目ともに工夫された料理でした。



# 秋の叙勲

平成23年秋の叙勲受章者として、次の方に授与されました。おめでとうございます。

11月24日(木)

## 戸沢正平氏 瑞宝単光章を受章

町の消防団員として、昭和41年より39年の永きにわたり活動し、平成元年5月の富士見町飲食店火災など、幾多の災害に率

先して出動し、地域住民の安全確保等に努められました。また、羅臼漁業協同組合漁業部会や岬町々内会の役員を務めるなど、産業振興や治安維持にもご尽力された功績が認められ、今回の受章となりました。

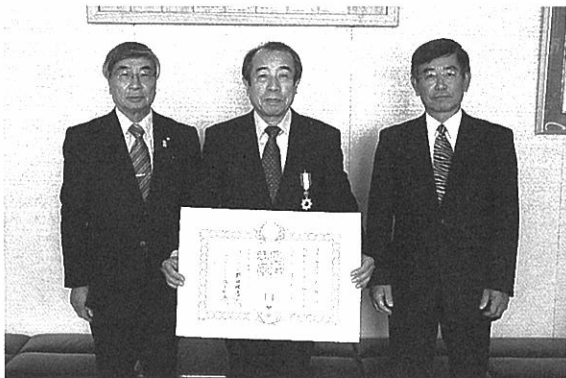


11月28日(月)

## 芦崎輝雄氏 旭日双光章を受章

昭和53年より町の教育委員として、平成3年からは教育委員長として28年の永きにわたり活動し、町内各学校の改築・改修

を進めるなど、羅臼町の教育環境の整備と児童生徒の学力向上に努められました。また、昭和56年から12年間、町立八木浜保育園長を勤め、その後も管内・北海道・全国のエデュ委員会役員を歴任されるなどの功績も認められ、今回の受章となりました。

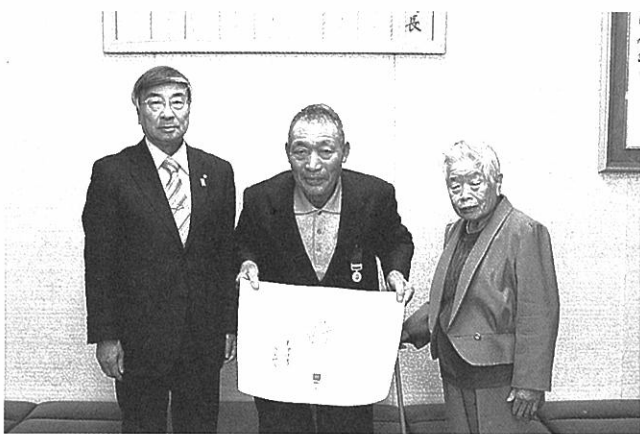


12月14日(水)

## 四ツ屋養吉氏 紺綬褒章を受章

平成22年12月に羅臼町「知床・羅臼まちづくり基金 診療所建設事業」に対し、多額の私財を寄附していただいたことに対し

授与されました。





## 町内に広がる 音楽の輪

11月26日(土)

町内の各学校や音楽サークル等10団体が参加し、ふれあいコンサート(主催 羅臼町公民館)が開催されました。今回は、

「こまぐさ学級」と「羅臼ジュニアハーモニー」のみなさんが一緒に合唱、また「公民館長とゆかいな仲間たち」のみなさんが、会場の子どもたちにも声掛けして一緒に合唱するなど、音楽を通じて団体・世代を超えた交流となりました。



## 歌にトークに楽しいひと時

12月3日(土)

羅臼町芸術文化鑑賞事業(主催 羅臼町公民館・羅臼町文化協会)として、フォークシンガーであるみのや雅彦さんのデビュー30周年コンサートが開催されました。ラ

ジオのパーソナリティとして知られる、みのや雅彦さんの笑いあり涙ありのトークに会場されたみなさんは大いに楽しんでいました。またコンサート終盤では、ラジオで発表された「羅臼」という曲も演奏されました。



## 長寿を祝って高津ふみさん

1月3日(火)

年が明け、3日に誕生日を迎え100歳になられた高津ふみさん(栄町)へ、長寿をお祝いし、町長から賞状と御祝金が贈られました。羅臼町内で100歳を迎えられた

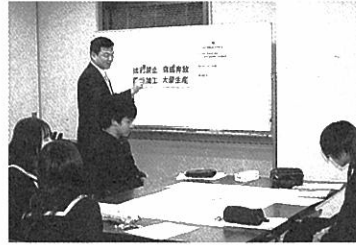
方は、高津ふみさんで4人目となりました。心よりお祝い申し上げます。





## 11月8日(火)・12月16日(金) 北方領土サミットに向けて

今後の継続した返還要求運動と後継者の担い手の育成を図るため、町内の中学生が昨年11月から研修・議論を重ねています。若い世代から見た「北方領土返還へのカギ」となるような取り組みを考え、2月4・5日に行われる北方領土サミットで発表されることとなります。



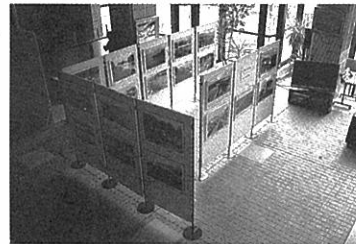
## 11月12日(土) 北方領土を学ぶ町民の集い

元島民による語り部や、NHK室蘭放送局記者佐藤恭孝氏を講師に迎えて「北方領土返還をどう進めるか」をテーマに、記者としての視点から見た返還要求運動など、北方領土問題についてあらためて考える機会となりました。



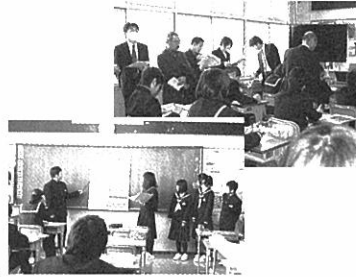
## 11月28日(月)～12月5日(月) 北方領土パネル展

役場1階町民ホール・羅臼国後展望塔において、戦前日本人が暮らしていた北方四島の姿を記録した写真が展示されました。当時の状況を知る者が減る中、貴重な資料であり、訪れた方々は目を留めていました。



## 11月30日(水) 第28回根室管内北方領土学習研究大会

「いつでも、どこでも、だれでもできる北方領土学習」をテーマとして、管内小中学校の教員を対象に、羅臼小学校4年生・春松中学校1年生の公開授業が行われました。北方領土との関わりをどのように子どもたちへ伝えるか、参加された先生たちは熱心に取り組まれました。



今年度も北方領土返還について、様々な取り組みが行われております。  
**返還への思いを風化させないために**

2月7日は北方領土の日です。返還祈願活動に参加してみませんか？

## 「美しい日の出を観ながら北方領土返還祈願」

日時／2月7日(火) 午前6時30分 場所／羅臼国後展望塔

※詳しくは役場企画振興課(87-2111)までお問い合わせ下さい。



**羅臼町選挙管理委員会委員・  
補充員のお知らせ**

任期満了により、次の方が新たに選任  
されました。

※一内は役職

【委員 長】大沼 勝 氏

【職務代理人】岡本 邦子 氏

【委 員】白坂 雄一 氏

【委 員】高津 寛之 氏

【補充 員】池田 幸世 氏

【補充 員】幾田 尚人 氏

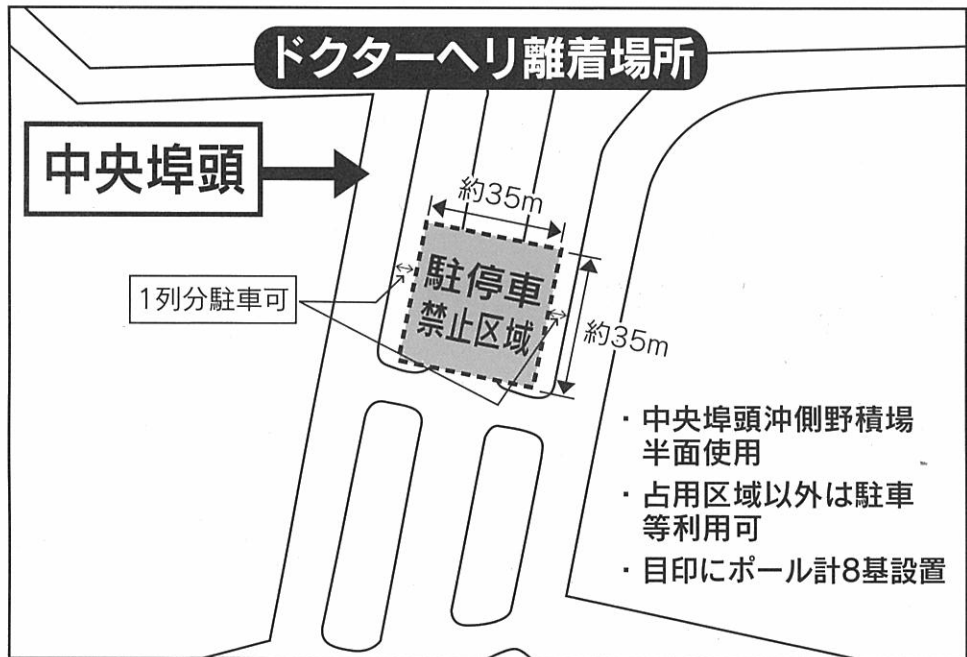
【補充 員】中谷 善子 氏

【補充 員】芦崎 剛 氏

任期 平成23年12月26日から

平成27年12月25日まで

**ご協力お願いします**



ドクターヘリの冬期間（5月中旬まで）の離着陸場所として、羅臼漁港中央埠頭を選定することとなりました。これに伴い中央埠頭の一部を駐停車禁止区域に設定することになりましたので、漁業関係者及び町民の方々には大変ご不便をお掛け致しますがご協力お願いします。

**寄付・寄贈  
ありがとうございました**

【防災備蓄品寄贈】

調理不要食

カレールイス・ハヤシライス

山洋建設(株) 様

【雑巾寄贈】

創価学会羅臼支部女性部

会長 戸松 榮子 様

知床・羅臼まちづくり基金

【診療所建設事業】

地岬漁業生産組合 様

株クレア 様

矢野 宏 幸 様

（平成23年11月3日）

12月29日受付分掲載）



# 学校や職場、自宅で動物を飼う時はちょっと思い出して下さい!

国内外で口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの流行にともない、昨年10月から特定の動物を飼っている場合、農家さんはもちろん、一般の方にも報告が義務づけられました。

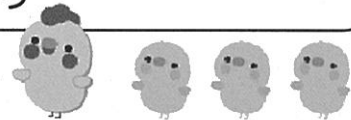
昨年中、一般の方からの報告はありませんでしたが、報告を忘れていた方、これからペットで飼う予定がある方は必ずご連絡下さい。

詳しくは、家畜保健衛生所か役場担当課までご確認ください。



## ○報告義務がある動物 (毎年)

牛、水牛、馬、鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし、ニワトリ、アヒル、うずら、キジ、ホロホロ鳥、七面鳥、ダチョウ



### 【お問い合わせ】

- 北海道根室家畜保健衛生所 電話 0153-75-2439
- 水産商工観光課 農林担当 電話 0153-87-2128

## TAXコラム (税務財政課通信)

### 「滞納が町財政を圧迫しています!」

～税金や使用料等の滞納状況～

平成22年度 決算報告

町	税	1億8,335万円
国	保 税	2億4,844万円
介 護 保 険 料		771万円
水 道 料		2,231万円
給 食 費 負 担 金		401万円
後期高齢者医療保険料		9万円
診 療 所 診 療 収 入		283万円
住 宅 使 用 料		4,820万円
土 地 使 用 料 ・ そ の 他		1,595万円
合 計		5億3,289万円

税務財政課では平成24年度の予算編成作業を行っておりますが、上記のとおり多額の滞納があり、私たちの町、羅臼町の発展のための重要な施策に大きな支障をきたしております。

今一度、早期に納税するようお願いいたします。

なお、町では、「公平・公明・公正」の観点から納税相談にも応じず、また納税誓約も履行しない滞納者に対しては、預貯金等の差押えを行っておりますが、引き続き預貯金、給与、生命保険等の差押えを重点的に執行し、収入確保に努めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<お問合せ先> 役場税務財政課 TEL 87-2113

## 赤ちゃん誕生

(敬称略)

(掲載はいずれも平成23年11月16日～平成24年1月15日受付分)

## おくやみ申し上げます

(敬称略)

(掲載はいずれも平成23年11月13日～平成24年1月15日受付分)

# 17文字の世界一短い作文

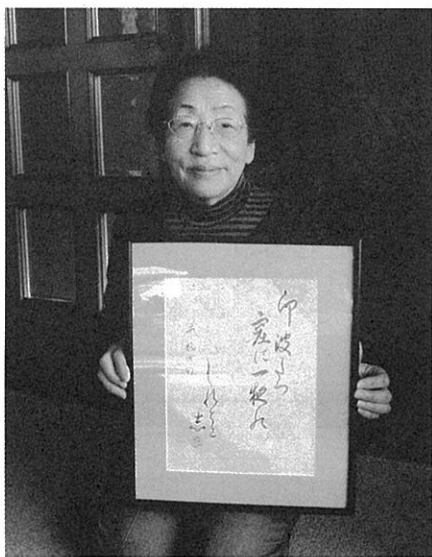
## 「俳句」に心を込めて

「北海道」を命名し、道東にゆかりの深い探検家松浦武四郎の生誕地三重県松阪市で開催された俳句百選に、広報誌でお馴染みの羅白いさり火吟社（会長 宮腰實氏）の小野寺千鶴枝さんが選ばれました。百選に選ばれた小野寺さんに、俳句への思いをお伺いしました。

「羅白いさり火吟社は、記録を遡ると、昭和22年10月に発足しました。発足後、一時は町内に2つの俳句の会が出来、活発な活動が見られましたが、徐々に会員が減少し、現在は、7名の会員で活動しています。」

### ”卯波立つ窟に一夜の知床志“

今回、百選に選ばれたのは、松浦武四郎が安政5年(1858年)に羅白を訪れ、マツカウス洞窟に宿泊した情景を想い、詠んだ句です。後日連絡を受けた時は、まさか自分の詠んだ句が、遠く離れた松阪市の通りに行燈として並ぶとは思いませんでしたが、たくさんの方の目に触れるのは嬉しいですよ。私は俳句を、「短い日記」として詠むことで、日頃の出来事を書き留めています。普段の何気ない生活の中で「綺麗だな」とか、感じたり思ったこ



とを心に留めるだけでなく、気持ちと言葉に換える素晴らしい方法だと思います。若い世代の方の俳句離れは大変寂しく思います。羅白いさり火吟社を通じて、町内のみなさんに投句を募集したり、初心者講座を開催することで、17文字の世界一短い作文「俳句」の楽しさを知ってもらえれば、嬉しさを分かち合えると思います。

# 羅白いさり火吟社

爪立たぬ南瓜に祖母の惚ばれて

朝寒や出船の舳素手で解く

鈴の音や鎮守の杜の朝寒し

晩秋の湖水に映る岳の雲

紅葉映ゆ夕日は山に消えんとす

退院の友の声聞く良夜かな

苔むした寺の踏みる初時雨

千帆

佳雪

英美

羅牛

白浪

日奈

鹿山

11月例会句  
平成23年11月

## 人の動き

平成23年12月末現在  
( )内は平成23年10月末対比

人口	5,953人	(- 1)
男	2,948人	(- 2)
女	3,005人	(+ 1)
世帯	2,185世帯	(- 2)

## 編集後記

年明け早々、町内は大雪・強風に見舞われ、みなさん除雪に翻弄されたかと思えます。

厳しい冬となっておりますが、2月12日(日)には商工会青年部が主催する「オジロまつり」が羅小グラウンドで予定しております。冬のひとときをご家族・お友達と楽しんでみてはいかがでしょうか？(N)

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。  
〒086-1183 羅白町礼文町  
電話 0153-18712569  
小野寺千鶴枝(電話0153-18712569)



世界自然遺産のまち・知床羅白町

■広報らうす平成24年1月号

編集/羅白町 企画振興課 企画振興係  
〒086-1892 目梨郡羅白町栄町100番地83  
☎0153-87-2111  
<http://www.rausu-town.jp/>